

NewsLetter



自治医科大学地域医療オープン・ラボ

Vol.117,Mar,2017

地域医療オープン・ラボNews Letter CRST メンバーリレーエッセイ No.2

地域臨床教育センター

地域臨床教育センター長 森田辰男

地域臨床教育センターは、平成27年8月1日、自治医科大学における12番目の教育研究施設として開設されました。本稿では、地域臨床教育センターの概要をご紹介します。<https://www.jichi.ac.jp/rcec/index.html>



現在、医療制度や医学教育は、大きな変化を遂げつつあります。医療においては、超高齢社会に突入し、慢性疾患が増加し慢性期医療等の大幅な供給不足が見込まれています。この変化に対応して病床機能分化が進み、自治医科大学附属病院が高度急性期疾患を主に扱うようになると、疾患の多くを占める慢性疾患等の診療の機会が附属病院では減少し、附属病院における慢性疾患等の臨床教育が不足します。また、卒前教育においては、「2023年問題」という“黒船”への対応、すなわち国際認証取得への対応に追われていますが、中でも、国際標準の教育では、「見学型」ではなく「診療参加型臨床実習」の充実が求められています。さらに、卒後教育においては、初期研修における地域医療研修、今後導入が予定されている新専門医制度においても地域での研修が必要とされています。このような背景のもと、医学生や研修医への卒前卒後臨床教育機能を学外地域臨床教育センターで補完し、地域で医療人を育成する環境を構築するとともに、単なる医師派遣ではなく教育を目的とした医師派遣によって、持続的な地域医療供給体制を構築することを目的に地域臨床教育センターは設置されました。また、地域臨床教育センターは、「地域医療に貢献する」という建学の精神の実践においても大変重要な役割を果たすこととなります。

地域臨床教育センターは学内と学外に設置されています(図)。学内地域臨床教育センターの重要な業務のひとつは、学外地域臨床教育センターへ派遣する教員の採用・管理です。現在、寄附講座教員あるいは地域医療支援教員を学内外から公募しています(<https://www.jichi.ac.jp/rcec/>)。一方、学外地域臨床教育センターは、現在、新小山市民病院、とちぎメディカルセンターしもつが、JCHOうつのみや病院、芳賀赤十字病院、古河赤十字病院の5病院に設置されていますが、今後、さいたま市民医療センターや筑西市に開設予定の新中核病院にも設置される予定で、卒前卒後教育や研究の実践の場となります。すなわち、医学生への卒前教育では、附属病院では接する機会が少ないcommon disease等に対応できる能力を培う診療参加型臨床実習の場として機能します(担当:医学教育センターを中心とする教務委員会)。研修医に対する卒後教育では、初期研修における地域医療研修(担当:卒後臨床研修センター)、後期研修における専門医取得のための連携病院での研修(担当:専門研修プログラム連絡協議会)の場として機能します。研究も重要な業務の一つですが、学外で研究を行う場合、様々な制約を受け研究がスムーズにすすまないことは想像に難くありません。この点は、臨床研究支援センターが支援することとなります。特に、臨床研究支援センター内の一部門であるCRSTは、論文作成をはじめいろいろと研究支援してくれますので、CRSTを活用されることをお勧めします。

この「News Letter」は、学内教員、自治医科大学大学院生、医学部学生、卒業生に向けて発信されていますので、この場を借りて教員募集をご案内致します。学外地域臨床教育センターは、診療科を問わずすべての診療科医師が利用できる横断的組織です。今まで第一線で活躍し習得されたノウハウ等を若き医学生や研修医に伝えたいという熱い情熱を持つ医師を募集しています。

<https://www.jichi.ac.jp/rcec/recruit.html> 採用されると、所属は自治医科大学になりますが、勤務地

は学外地域臨床教育センターになり、臨床とともに教育にも従事することになります。地域臨床教育センターの事務局は、地域医療推進課内に設置されておりますので、詳細に関しては地域医療推進課へお問い合わせください。

(TEL: 0285-58-7054、FAX: 0285-44-6274、E-mail: rcec@jichi.ac.jp)



(2016年から不定期にCRST*メンバーによるリレーエッセイをNewsLetterとしてお届けしています。次回の執筆者は、自治医科大学産婦人科学講座教授 藤原寛行先生の予定です。)

*CRSTは、本学卒業医師の地域医療に根ざした研究や論文を支援するために、2010年7月に発足した「地域医療研究支援チーム」です。現在、147名の有志教員にご参加いただき、各専門分野における研究テーマのブラッシュアップに加え、一般的な論文作成支援にご協力いただいております。2013年4月に発足した「臨床研究支援センター」活動の一翼を担う組織として位置付けられています。

CRSTに参加し、研究支援活動を行っていただける方をひろく募集いたします。チームの活動は、主にメーリングリスト上での情報共有とディスカッションであり、会合等による時間制約はありません。チームメンバーの専門領域についてのご意見とご指導をお願いすることになります。参加登録や本企画へのご意見は、地域医療オープン・ラボ(内線2338、openlabo@jichi.ac.jp)へご連絡下さい。

CRST ホームページ <http://www.jichi.ac.jp/dscm/CRST.html>

CRST メンバーリレーエッセイ

No.1 学会散歩:「この発表はなぜ分かりにくいのか?」と考えてみる(松原)2017年1月 (News Letter No.114)

!!地域医療オープン・ラボNews Letter原稿募集!!

地域医療オープン・ラボでは、自治医大の教員や卒業生の研究活動を学内外へ発信するために、「自治医科大学地域医療オープン・ラボNews Letter」を定期的に発行しています。

<http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>

- ☆ 自治医大の教員や卒業生の研究活動をご紹介します
- ☆ 自薦・他薦を問いません
- ☆ 連絡先:地域医療オープン・ラボ openlabo@jichi.ac.jp

[発行]自治医科大学大学院医学研究科
地域医療オープン・ラボ運営委員会
事務局 大学事務部学事課 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
TEL 0285-58-7044/FAX 0285-44-3625/e-mail openlabo@jichi.ac.jp
<http://www.jichi.ac.jp/graduate/index.htm>